

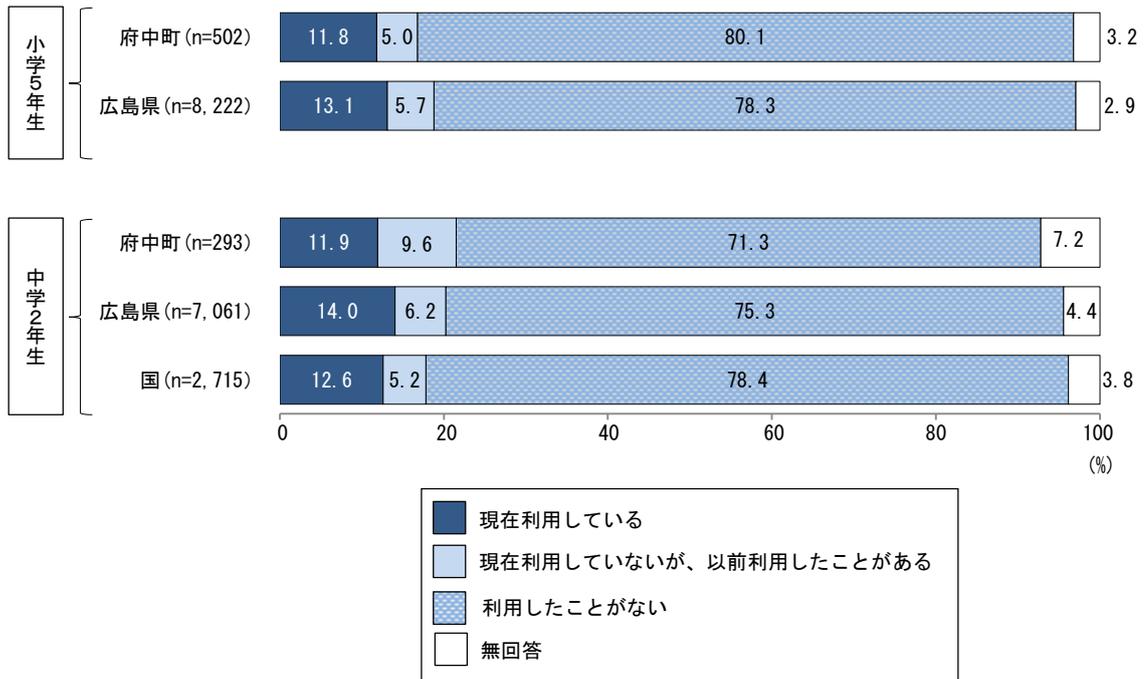
4 支援の利用状況や効果等

(1) 保護者の状況

保護者票問 28. あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(SA)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(SA)

= 就学援助の利用状況 =

【全体】

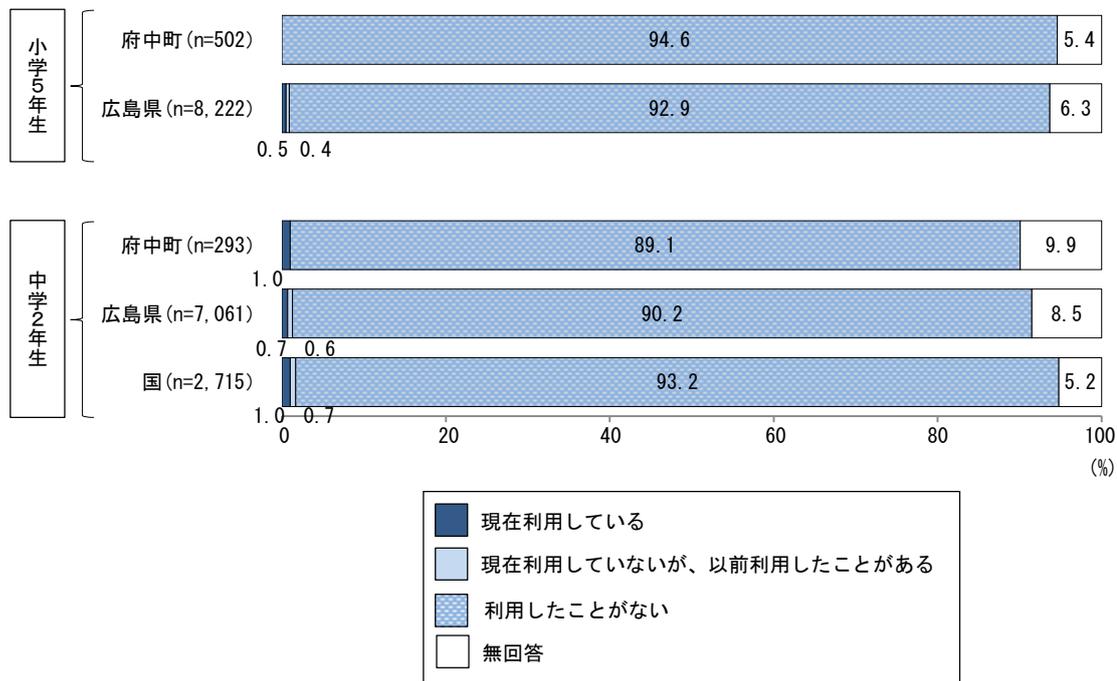


就学援助の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が11.8%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が5.0%、「利用したことがない」が80.1%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が11.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が9.6%、「利用したことがない」が71.3%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「利用したことがない」は、府中町(71.3%)が国(78.4%)を7.1ポイント下回っている。

＝ 生活保護の利用状況 ＝

【全体】

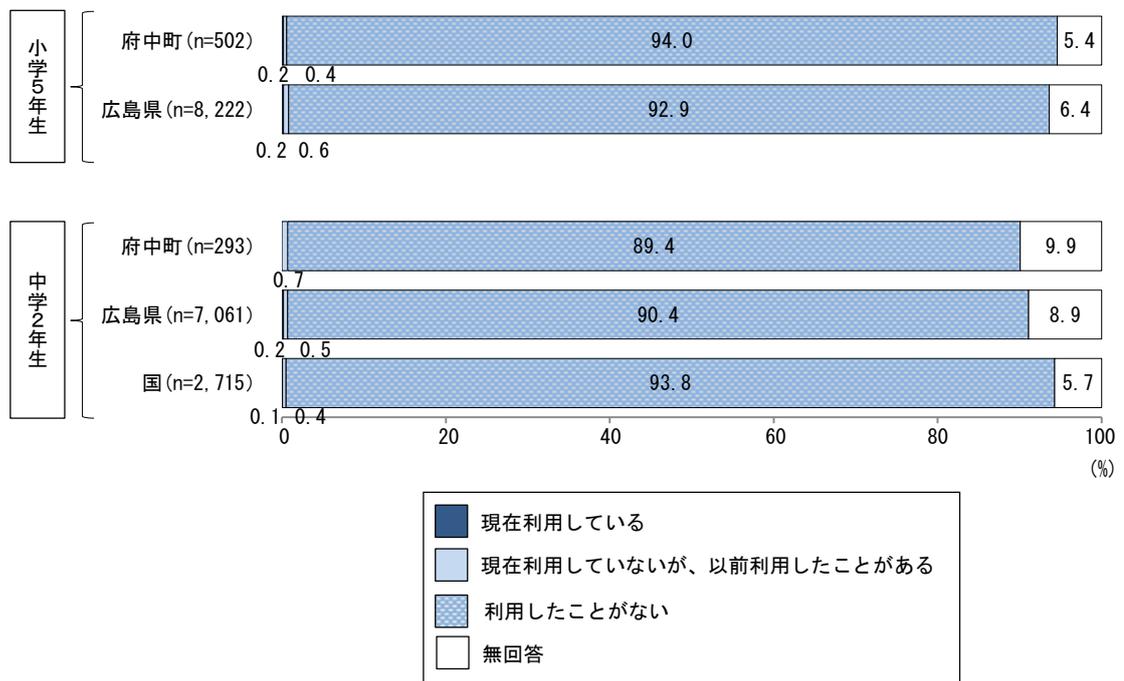


生活保護の利用状況について、小学5年生の保護者では、「利用したことがない」が94.6%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が1.0%、「利用したことがない」が89.1%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

= 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 =

【全体】

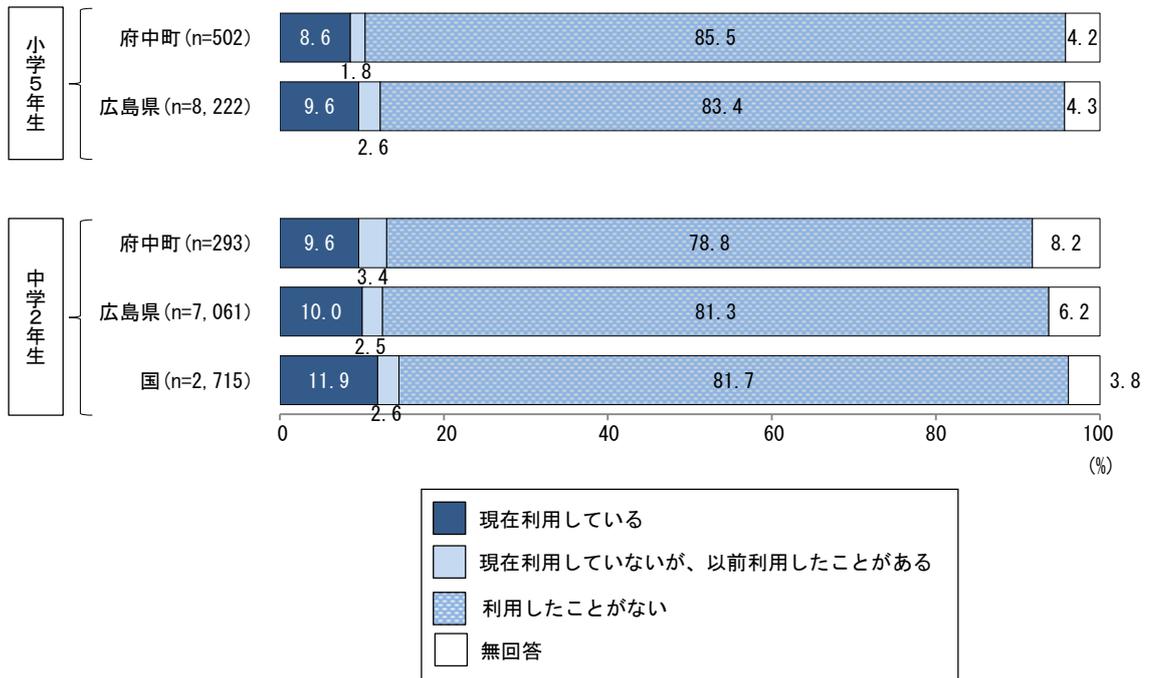


生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「利用したことがない」が94.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が89.4%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

= 児童扶養手当の利用状況 =

【全体】

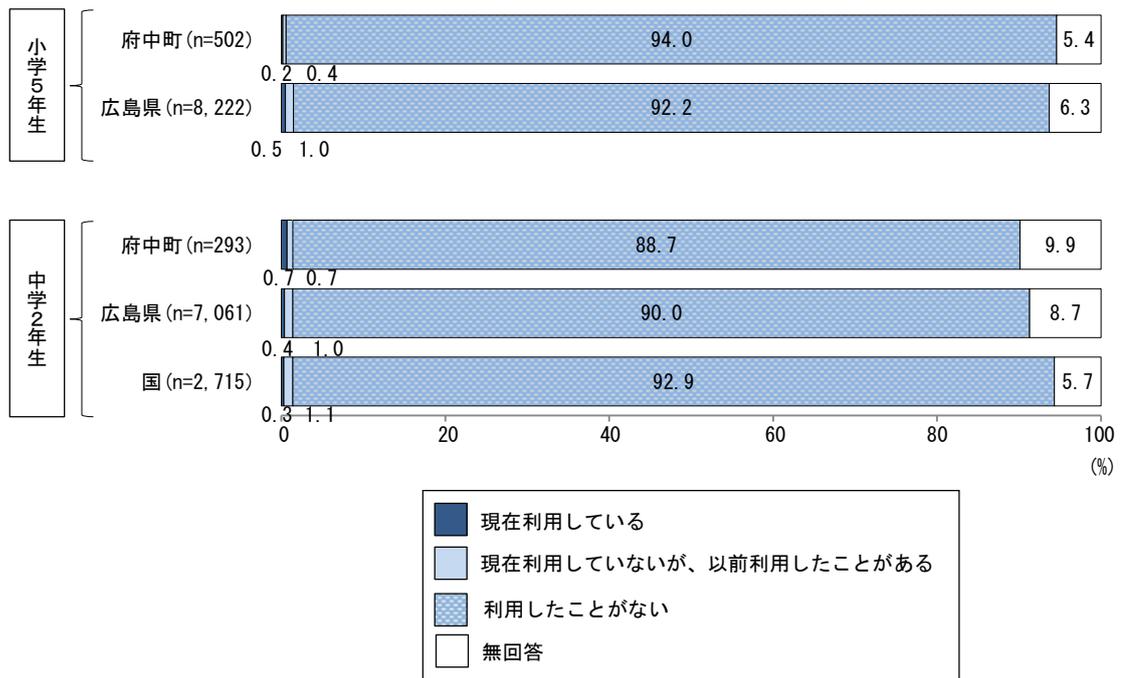


児童扶養手当の利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が8.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.8%、「利用したことがない」が85.5%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生の保護者では、「現在利用している」が9.6%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.4%、「利用したことがない」が78.8%となっている。広島県、国と比較すると、どちらも大きな差はみられない。

＝ 母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 ＝

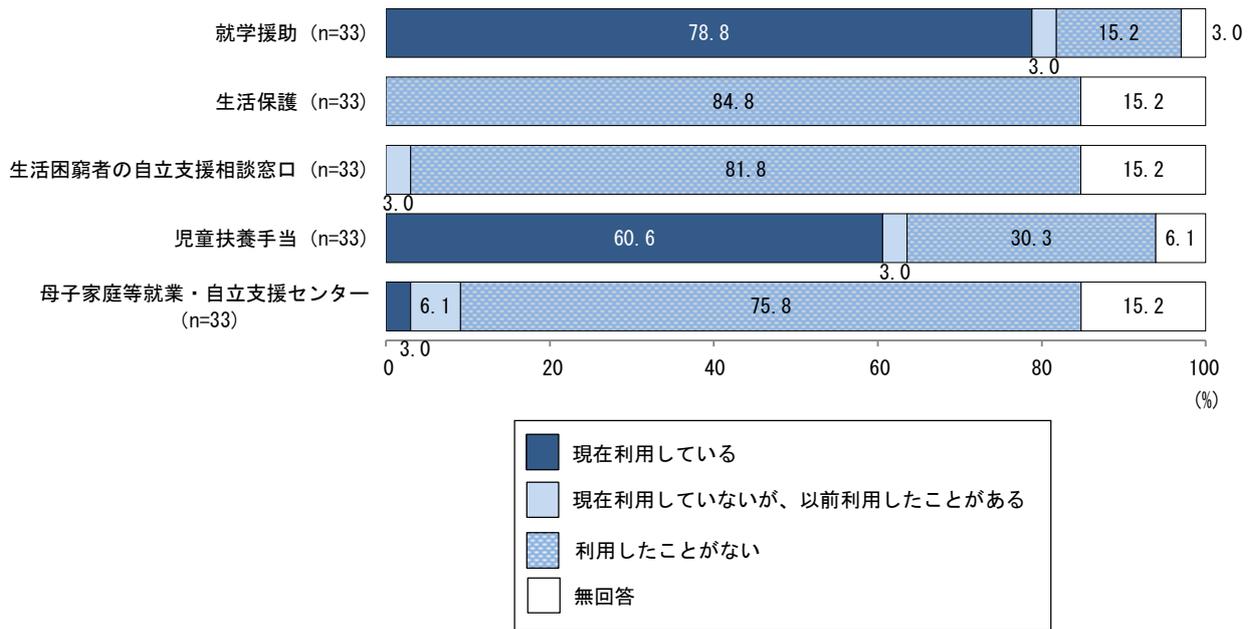
【全体】



母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況について、小学5年生の保護者では、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、「利用したことがない」が94.0%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

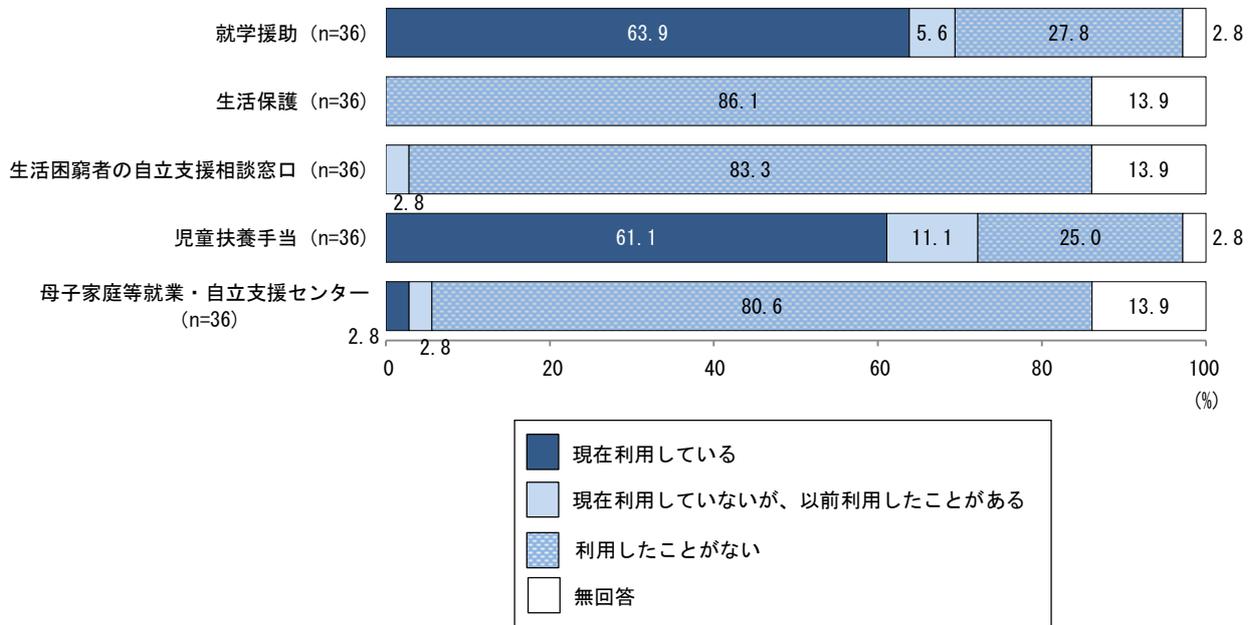
中学2年生の保護者では、「現在利用している」が0.7%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%、「利用したことがない」が88.7%となっている。広島県、国と比較すると、どちらとも大きな差はみられない。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



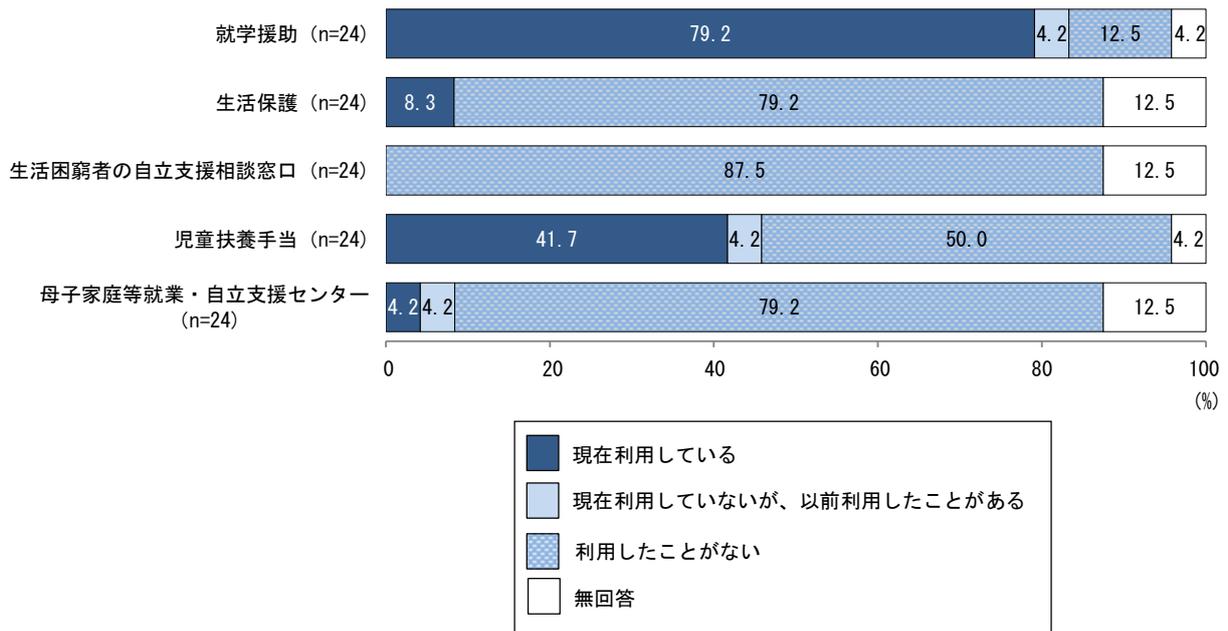
等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で78.8%、「児童扶養手当」で60.6%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学5年生の保護者】



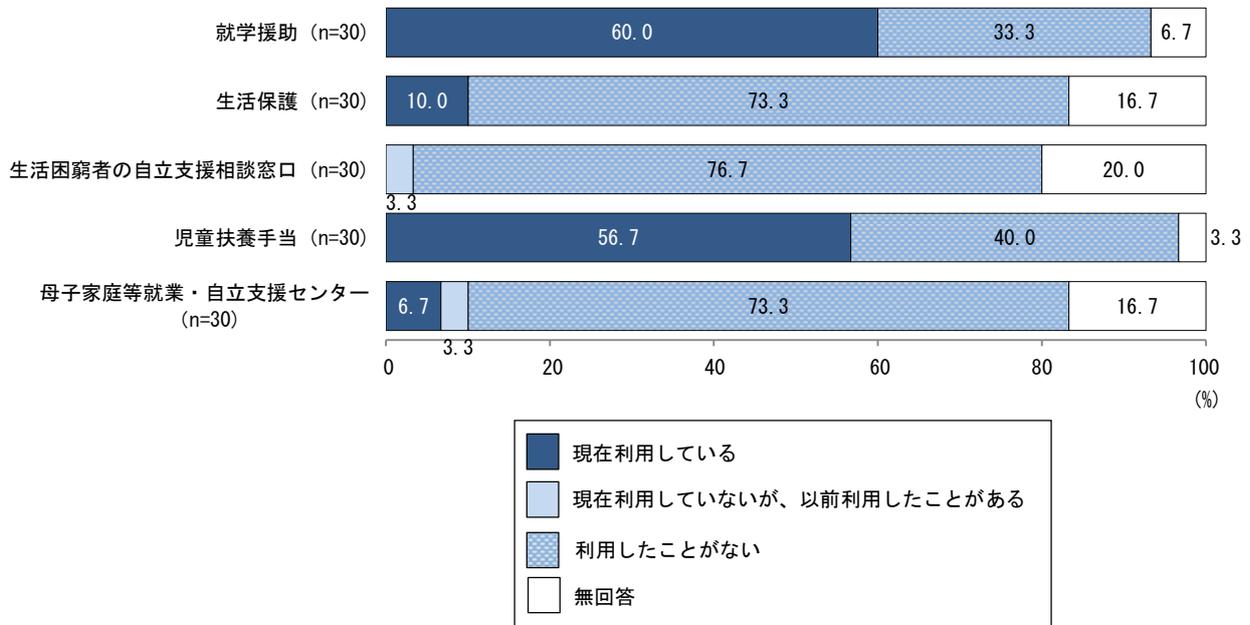
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で63.9%、「児童扶養手当」で61.1%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で79.2%、「児童扶養手当」で41.7%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割未満となっている。

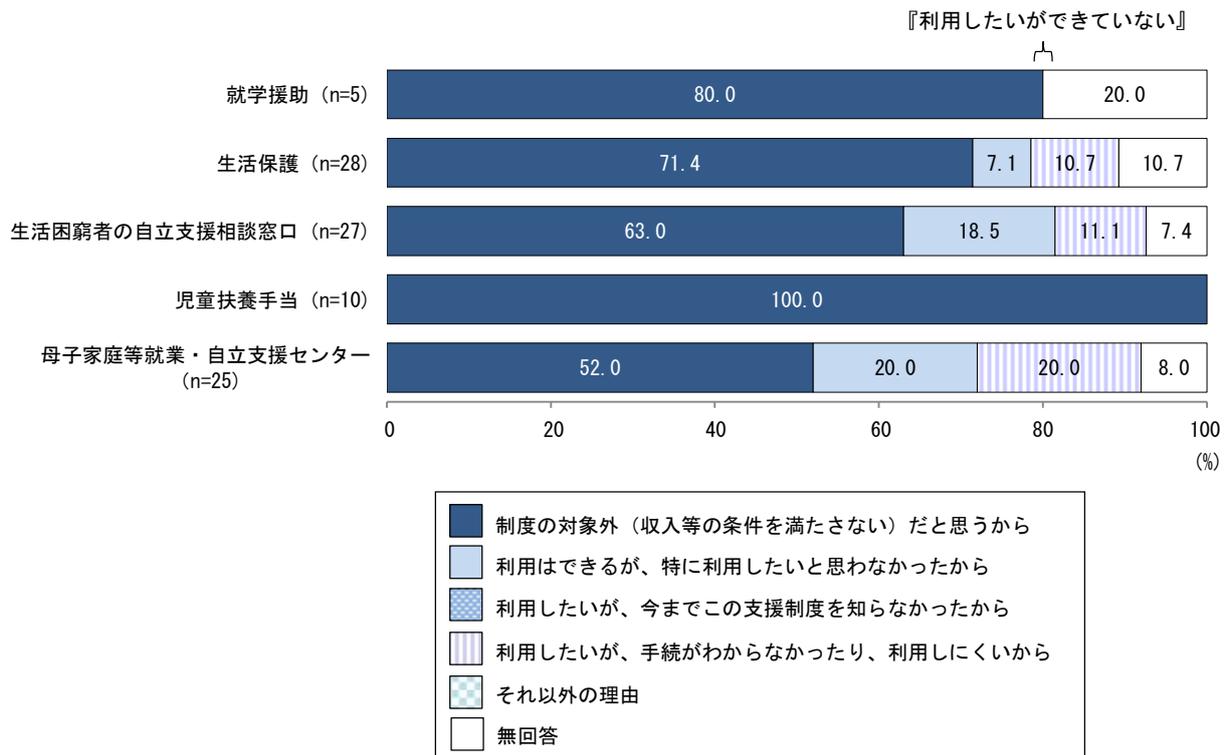
【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学2年生の保護者】



「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」は、「就学援助」で60.0%、「児童扶養手当」で56.7%となっている。それ以外では、「現在利用している」は1割以下となっている。

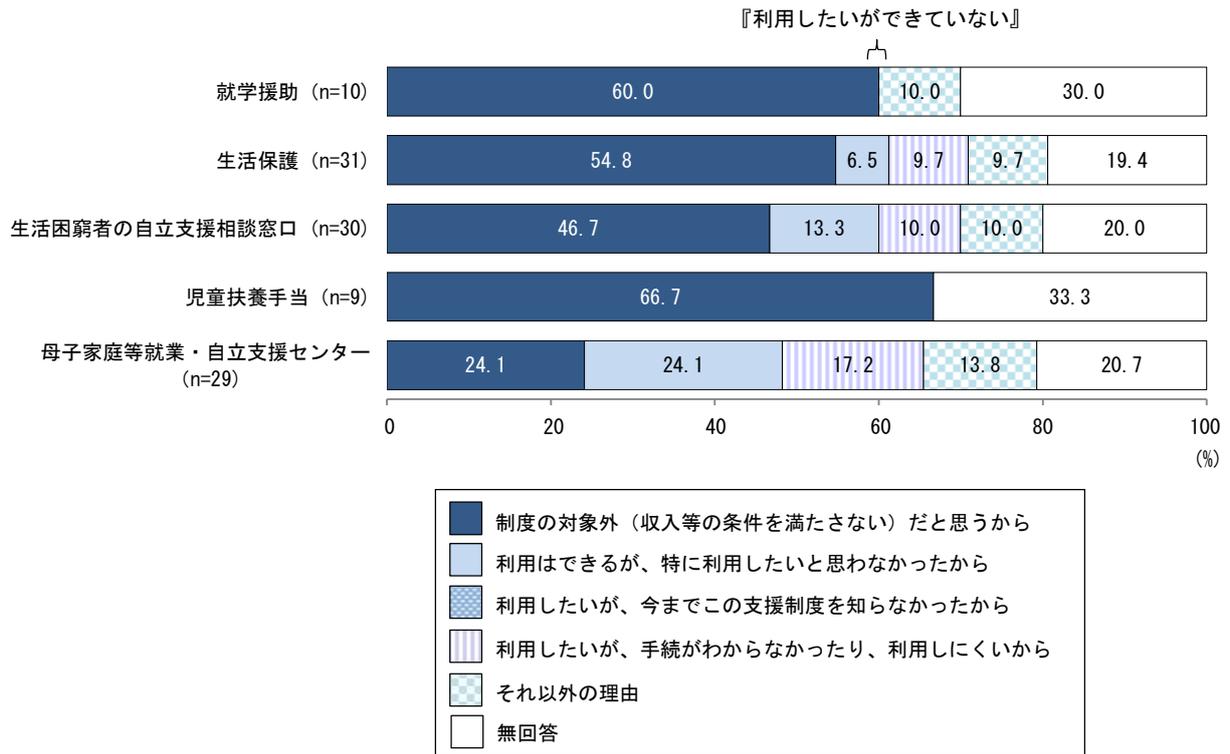
= 支援制度を利用していない理由 =

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_小学5年生の保護者】



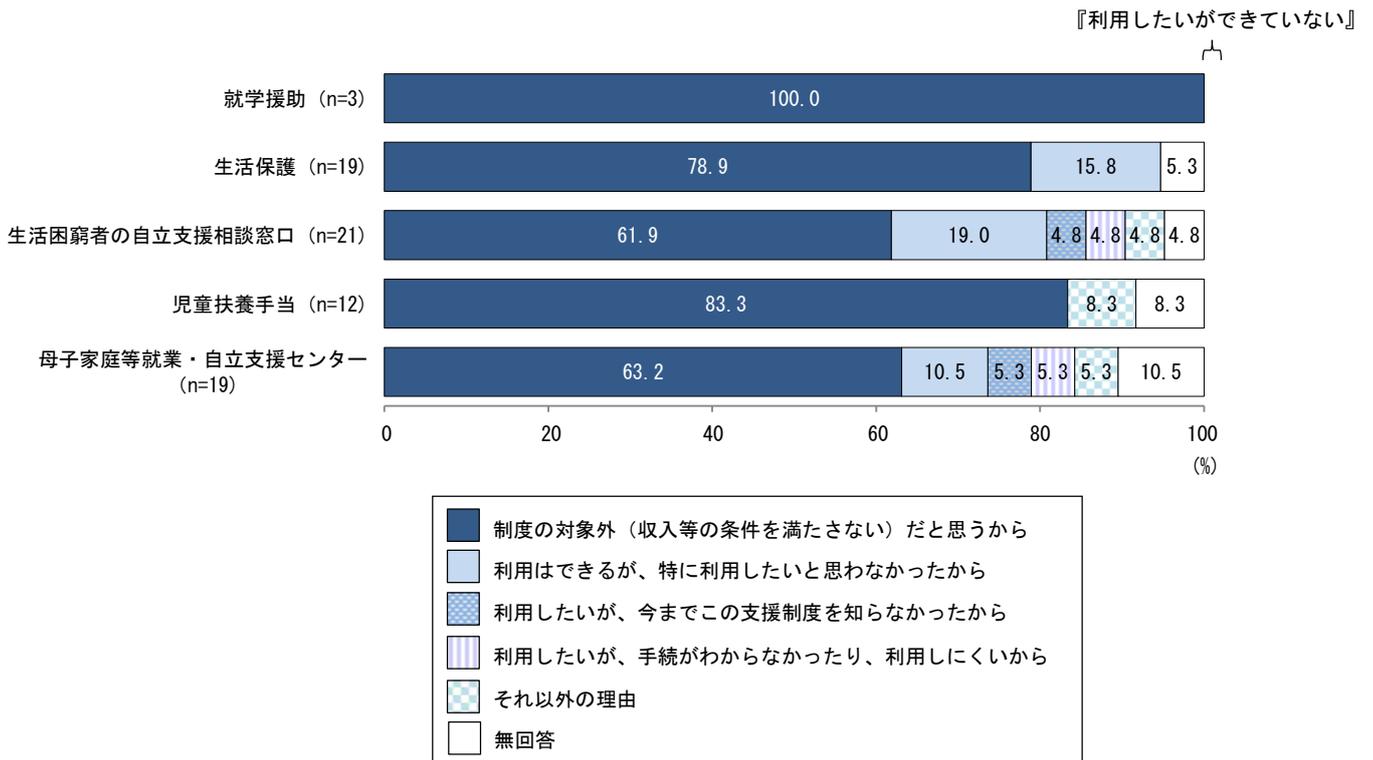
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、小学5年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない（「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」と「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を合わせた割合）』は、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」で約1割、「母子家庭等就業・自立支援センター」で2割となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_小学5年生の保護者】



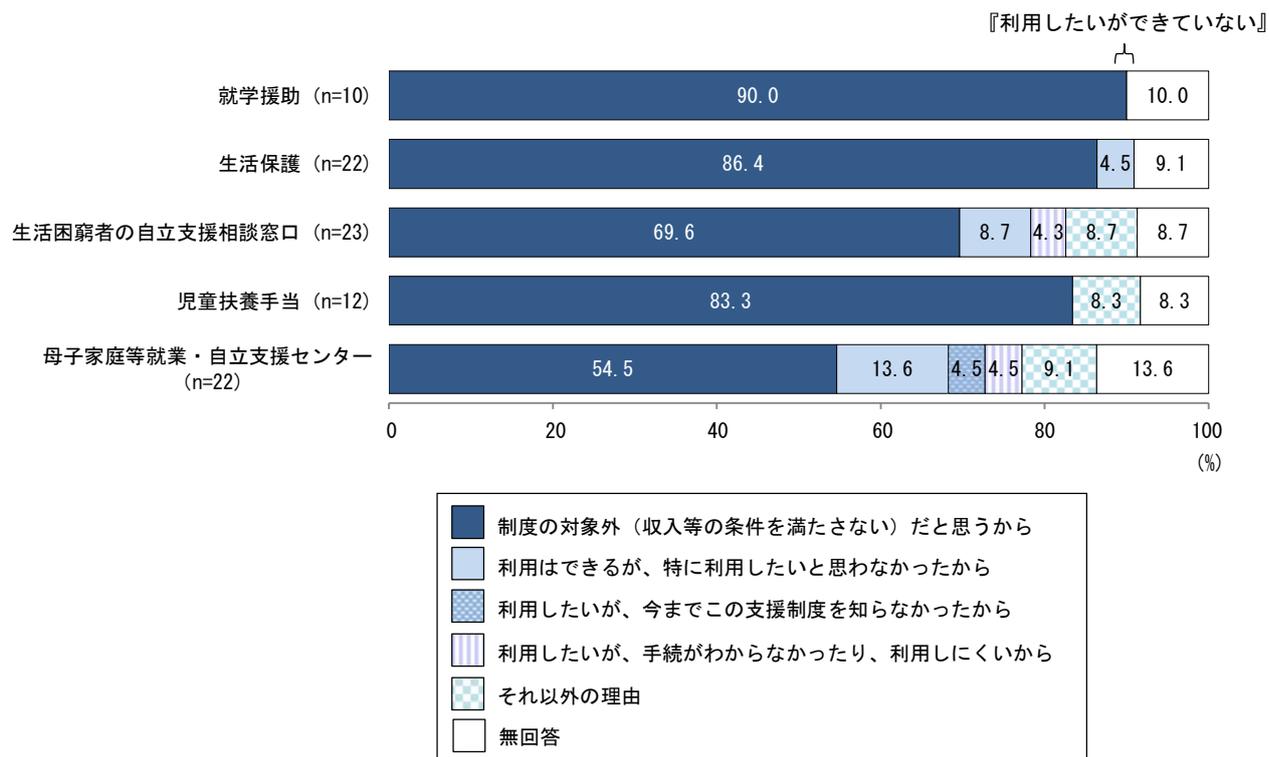
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、小学5年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない） だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」で約1割、「母子家庭等就業・自立支援センター」で約2割となっている。

【等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の場合_中学2年生の保護者】



各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、中学2年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」で約1割となっている。

【世帯の状況が「ひとり親世帯」の場合_中学2年生の保護者】



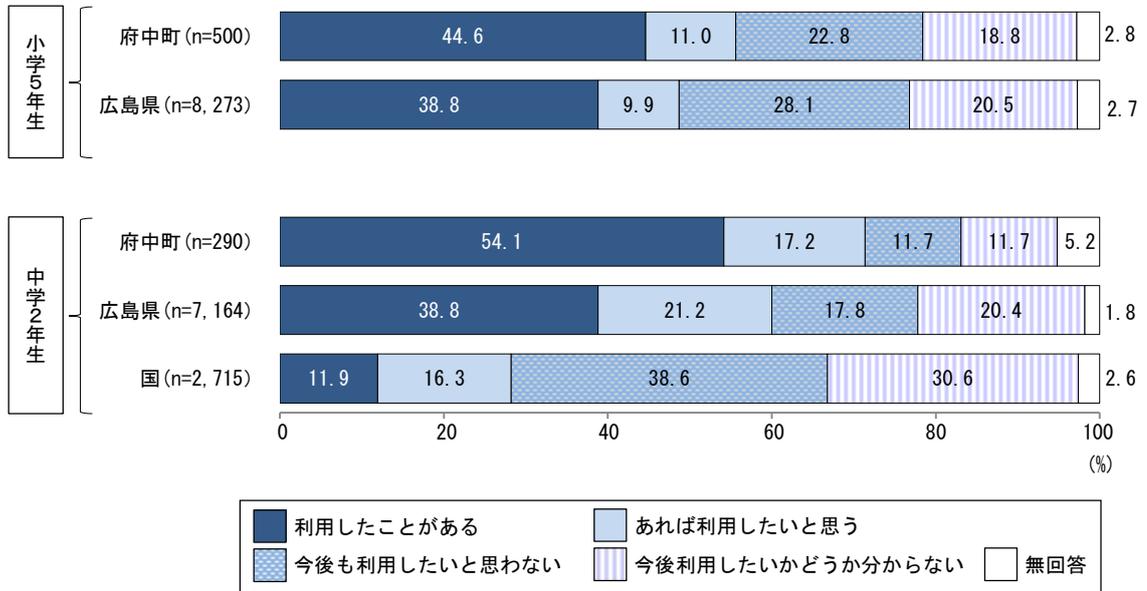
各支援制度を利用していない理由について、「ひとり親世帯」に限って集計すると、中学2年生の保護者では、いずれの制度に関しても「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の回答割合が最も高くなっている。『利用したいができていない』は、「母子家庭等就業・自立支援センター」で約1割となっている。

(2) 子どもの状況

子ども票問 21. あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(SA)

= (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 =

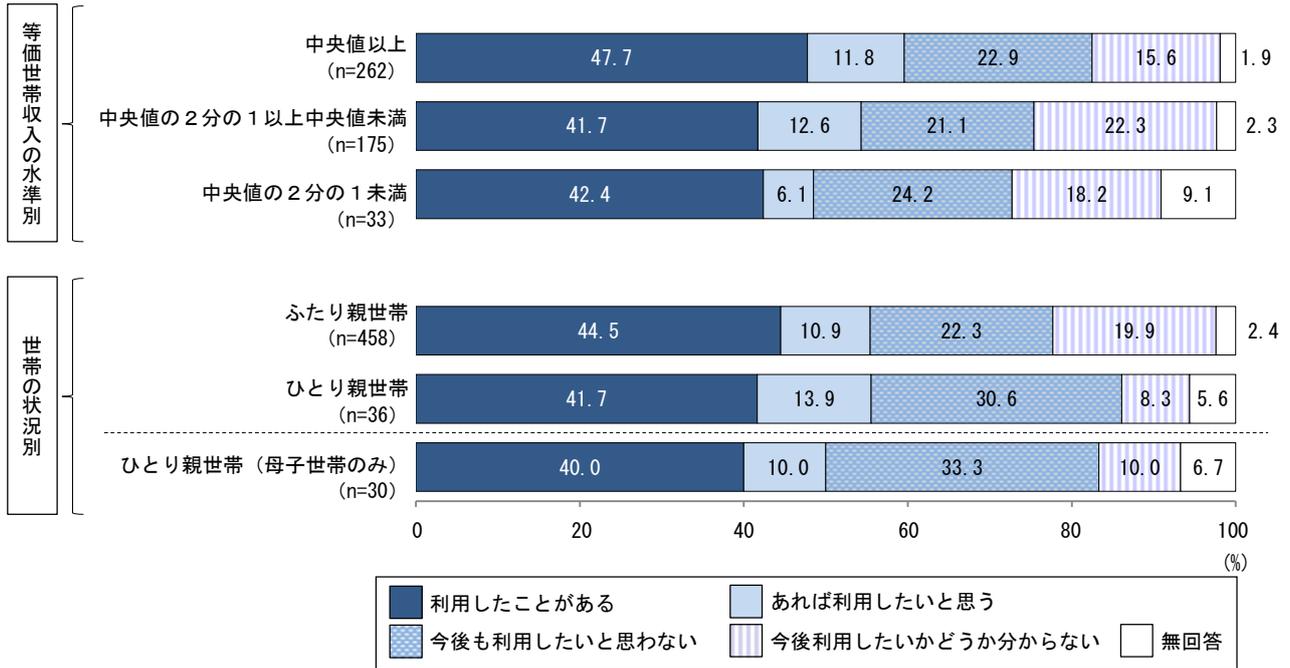
【全体】



平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が44.6%、「あれば利用したいと思う」が11.0%、「今後も利用したいと思わない」が22.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が18.8%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は、府中町(44.6%)が広島県(38.8%)を5.8ポイント上回っている。

中学2年生では、「利用したことがある」が54.1%、「あれば利用したいと思う」が17.2%、「今後も利用したいと思わない」、「今後利用したいかどうか分からない」がともに11.7%となっている。広島県と比較すると、「利用したことがある」は、府中町(54.1%)が広島県(38.8%)を15.3ポイント上回っている。国と比較すると、「利用したことがある」は、府中町(54.1%)が国(11.9%)を42.2ポイント上回っている。

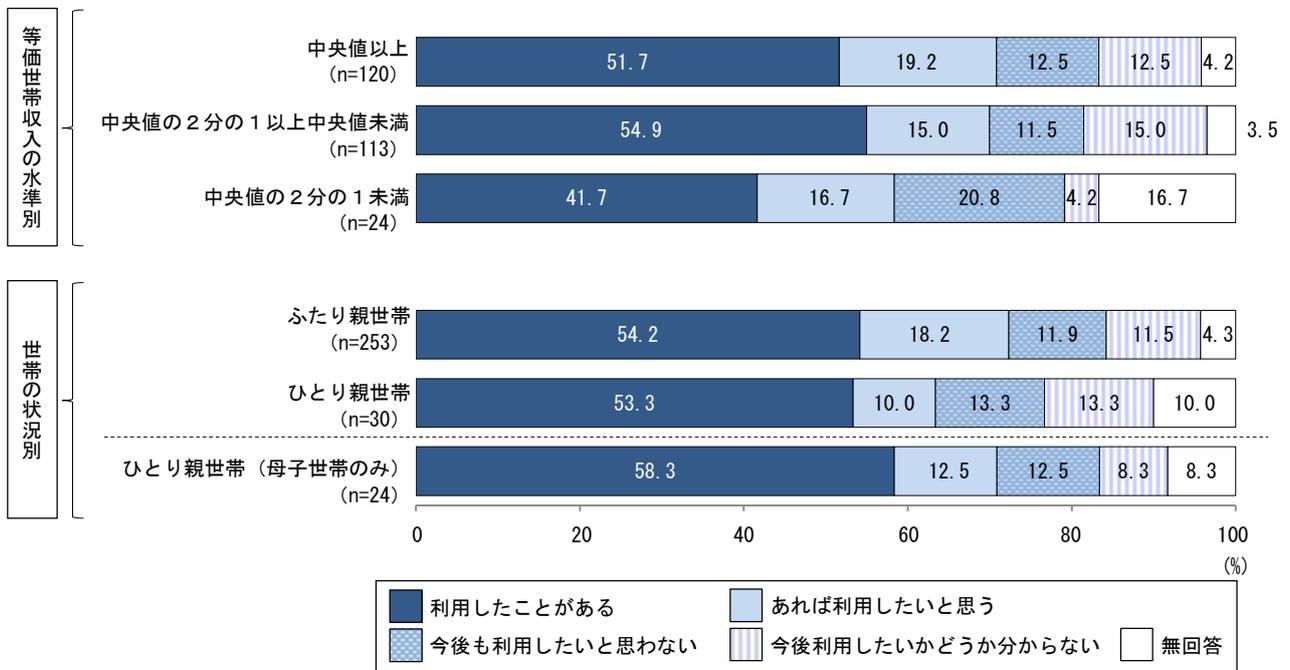
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では11.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では12.6%、「中央値の2分の1未満」では6.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では10.9%、「ひとり親世帯全体」では13.9%、「母子世帯のみ」では10.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

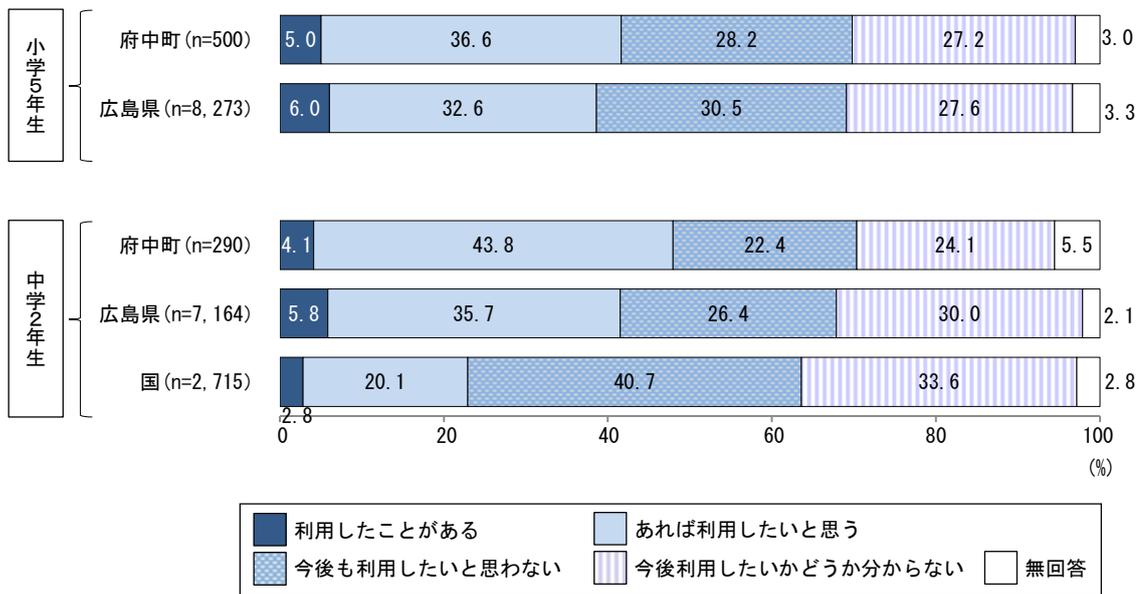


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では19.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では15.0%、「中央値の2分の1未満」では16.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では18.2%、「ひとり親世帯全体」では10.0%、「母子世帯のみ」では12.5%となっている。

＝（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）＝

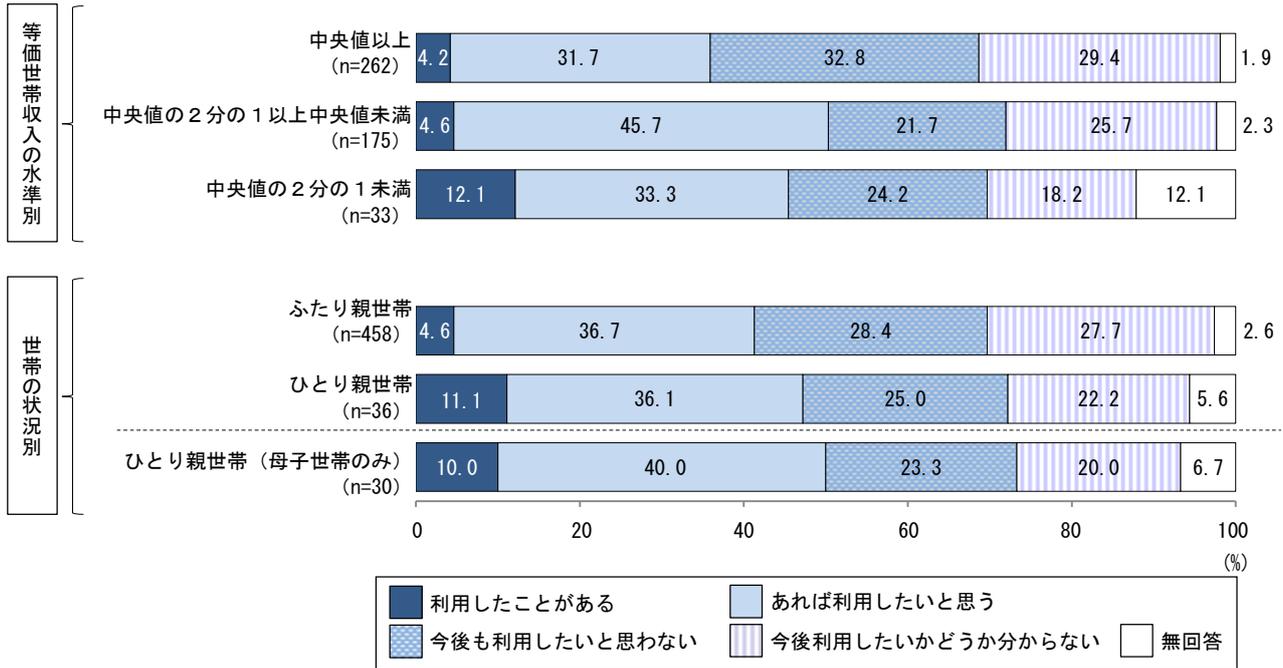
【全体】



夕ごはんを無料か安く食べることができる場所の利用状況について、小学5年生では、「利用したことがある」が5.0%、「あれば利用したいと思う」が36.6%、「今後も利用したいと思わない」が28.2%、「今後利用したいかどうか分からない」が27.2%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「利用したことがある」が4.1%、「あれば利用したいと思う」が43.8%、「今後も利用したいと思わない」が22.4%、「今後利用したいかどうか分からない」が24.1%となっている。広島県と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、府中町（43.8%）が広島県（35.7%）を8.1ポイント上回っている。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、府中町（43.8%）が国（20.1%）を23.7ポイント上回っている。

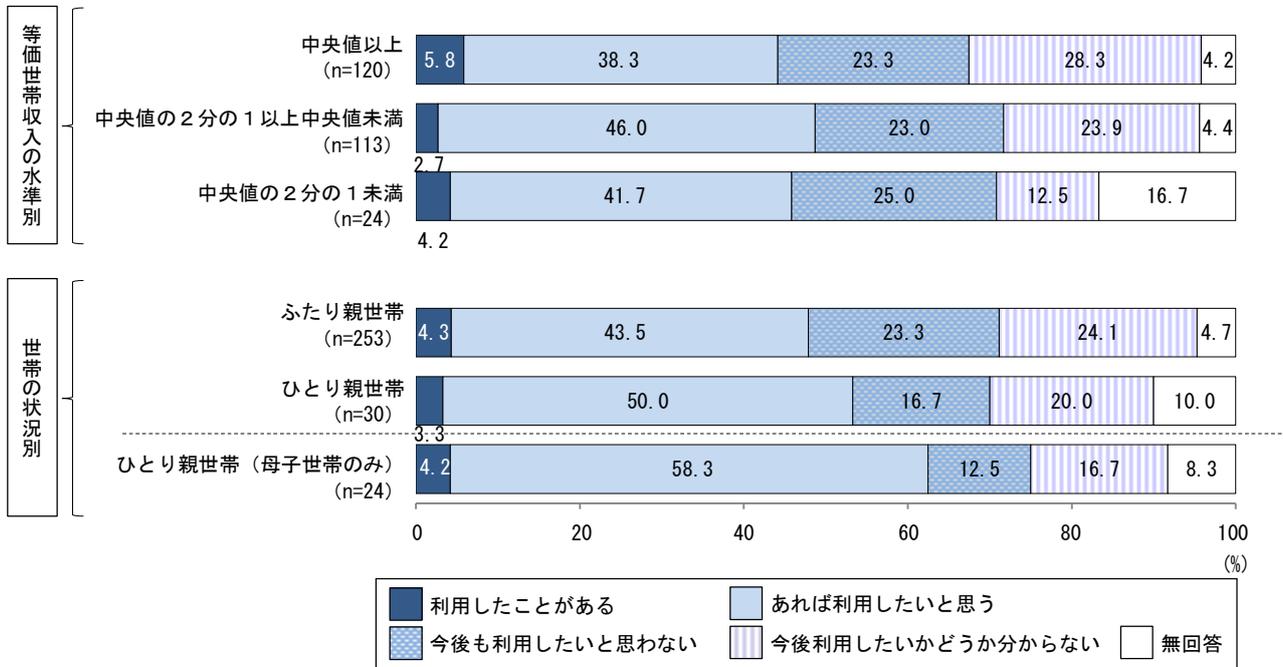
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では31.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では45.7%、「中央値の2分の1未満」では33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では36.7%、「ひとり親世帯全体」では36.1%、「母子世帯のみ」では40.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

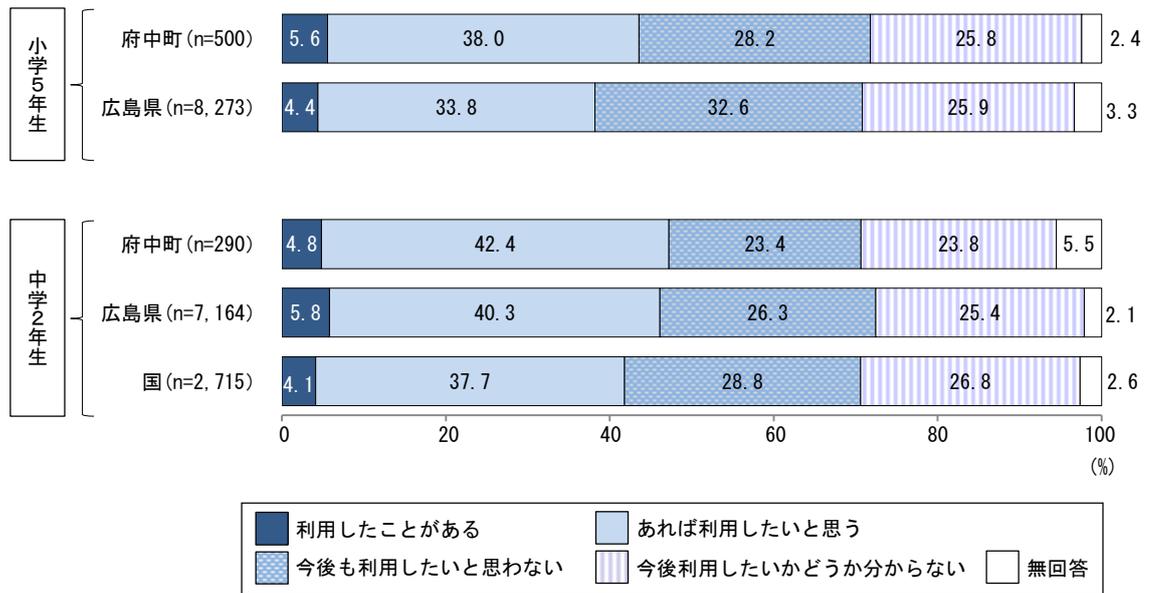


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では38.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では46.0%、「中央値の2分の1未満」では41.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では43.5%、「ひとり親世帯全体」では50.0%、「母子世帯のみ」では58.3%となっている。

= 勉強を無料でみてくれる場所 =

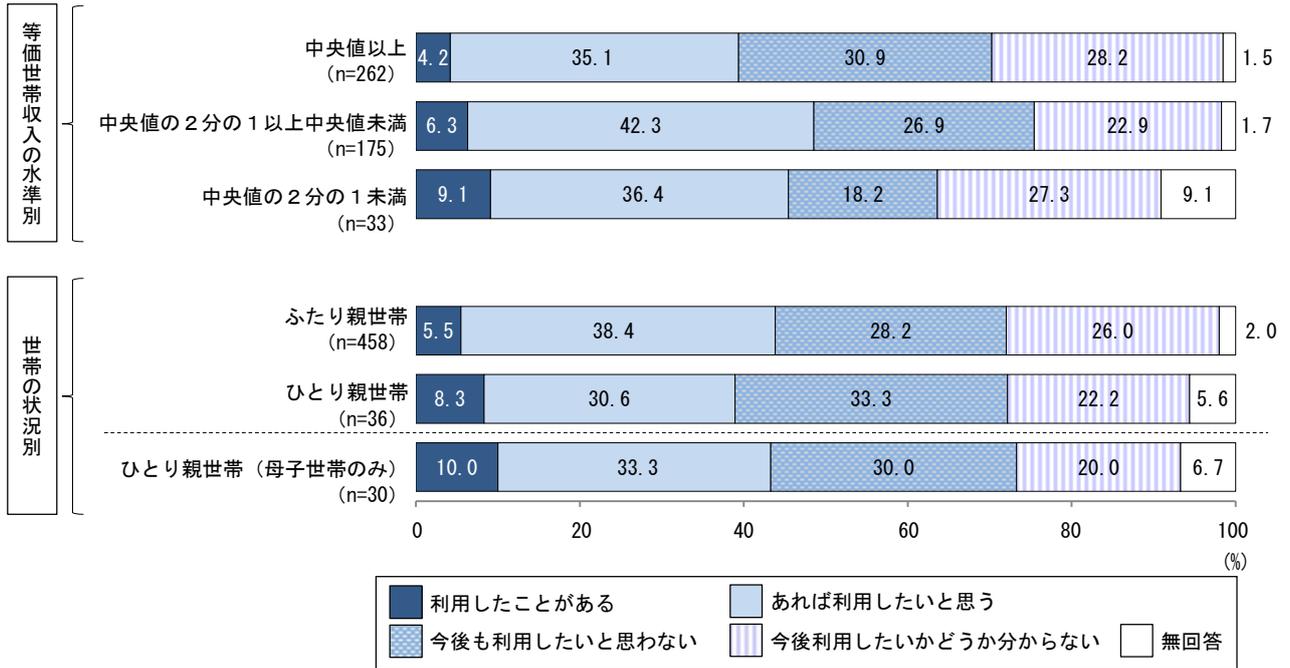
【全体】



勉強を無料でみてくれる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が5.6%、「あれば利用したいと思う」が38.0%、「今後も利用したいと思わない」が28.2%、「今後利用したいかどうか分からない」が25.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。

中学2年生では、「利用したことがある」が4.8%、「あれば利用したいと思う」が42.4%、「今後も利用したいと思わない」が23.4%、「今後利用したいかどうか分からない」が23.8%となっている。広島県と比較すると、大きな差はみられない。国と比較すると、「今後も利用したいと思わない」は、府中町（23.4%）が国（28.8%）を5.4ポイント下回っている。

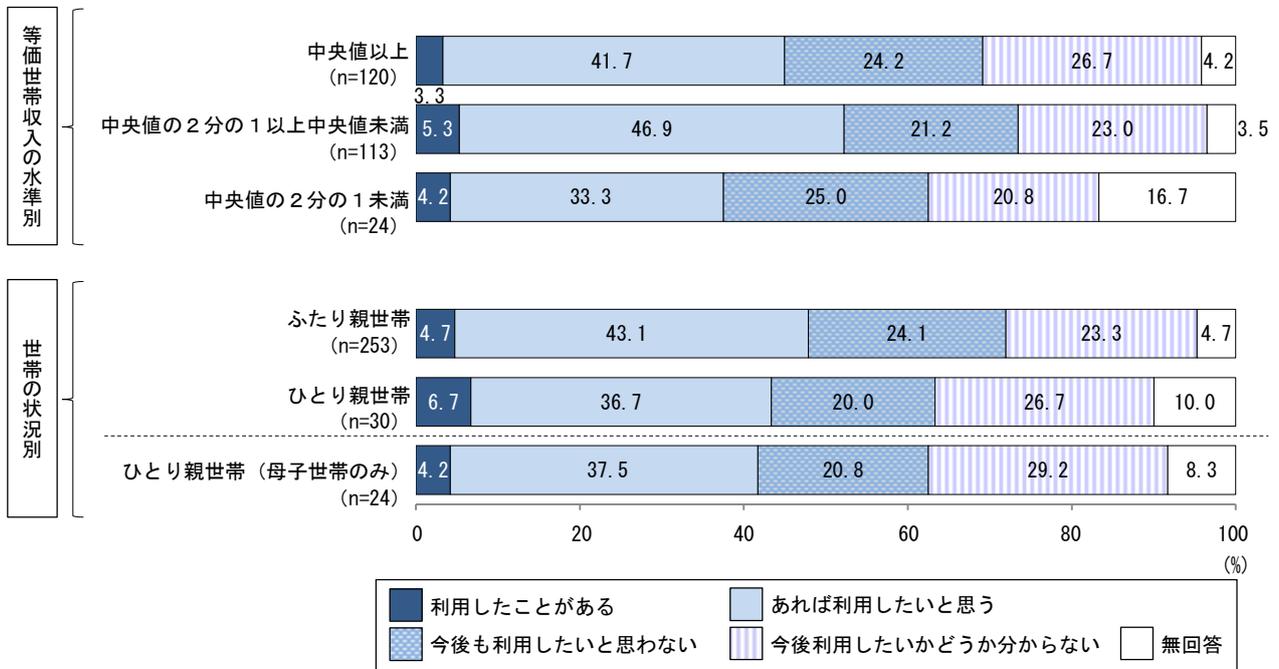
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では35.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では42.3%、「中央値の2分の1未満」では36.4%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では38.4%、「ひとり親世帯全体」では30.6%、「母子世帯のみ」では33.3%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】

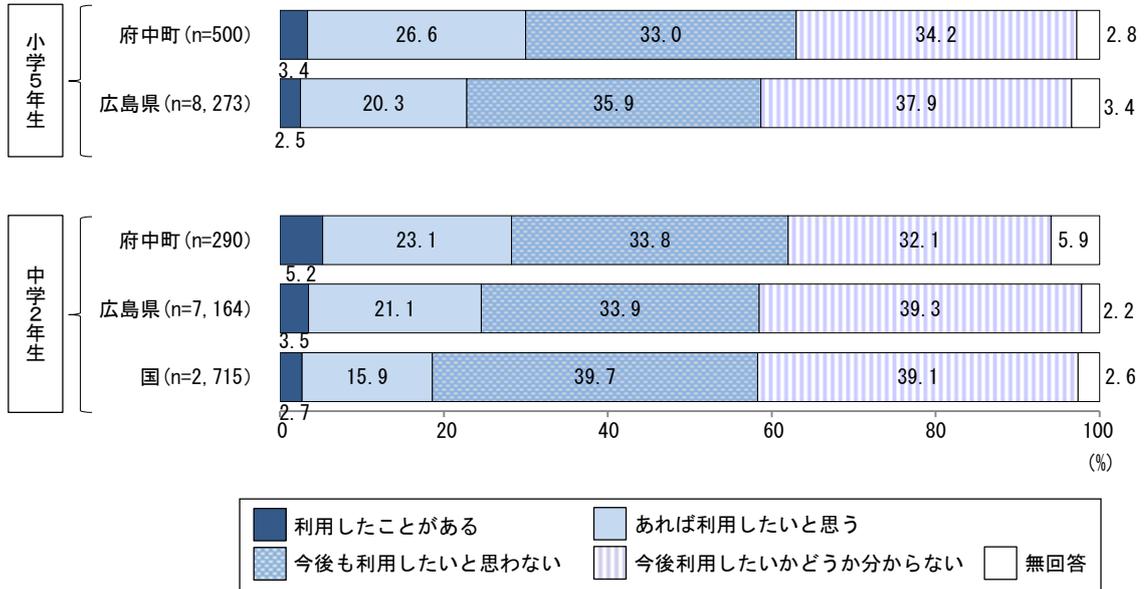


等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では41.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では46.9%、「中央値の2分の1未満」では33.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では43.1%、「ひとり親世帯全体」では36.7%、「母子世帯のみ」では37.5%となっている。

= (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。) =

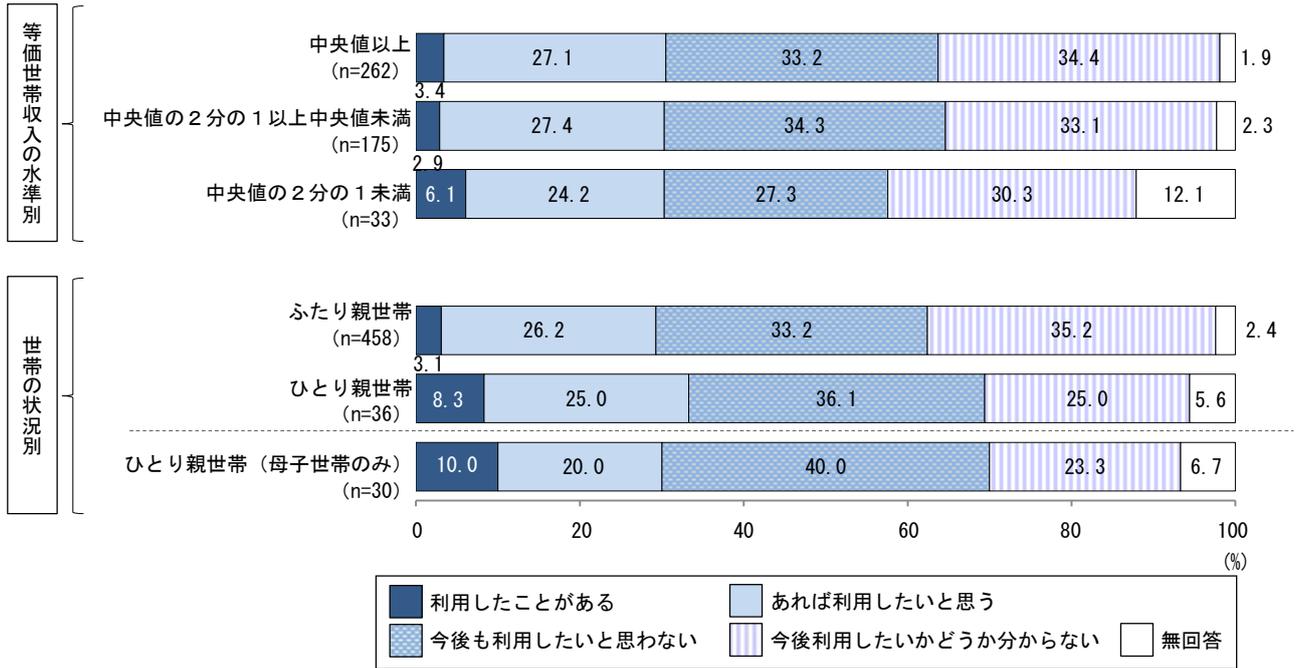
【全体】



何でも相談できる場所について、小学5年生では、「利用したことがある」が3.4%、「あれば利用したいと思う」が26.6%、「今後も利用したいと思わない」が33.0%、「今後利用したいかどうか分からない」が34.2%となっている。広島県と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、府中町(26.6%)が広島県(20.3%)を6.3ポイント上回っている。

中学2年生では、「利用したことがある」が5.2%、「あれば利用したいと思う」が23.1%、「今後も利用したいと思わない」が33.8%、「今後利用したいかどうか分からない」が32.1%となっている。広島県と比較すると、「今後利用したいかどうか分からない」は、府中町(32.1%)が広島県(39.3%)を7.2ポイント下回っている。国と比較すると、「あれば利用したいと思う」は、府中町(23.1%)が国(15.9%)を7.2ポイント上回っている。

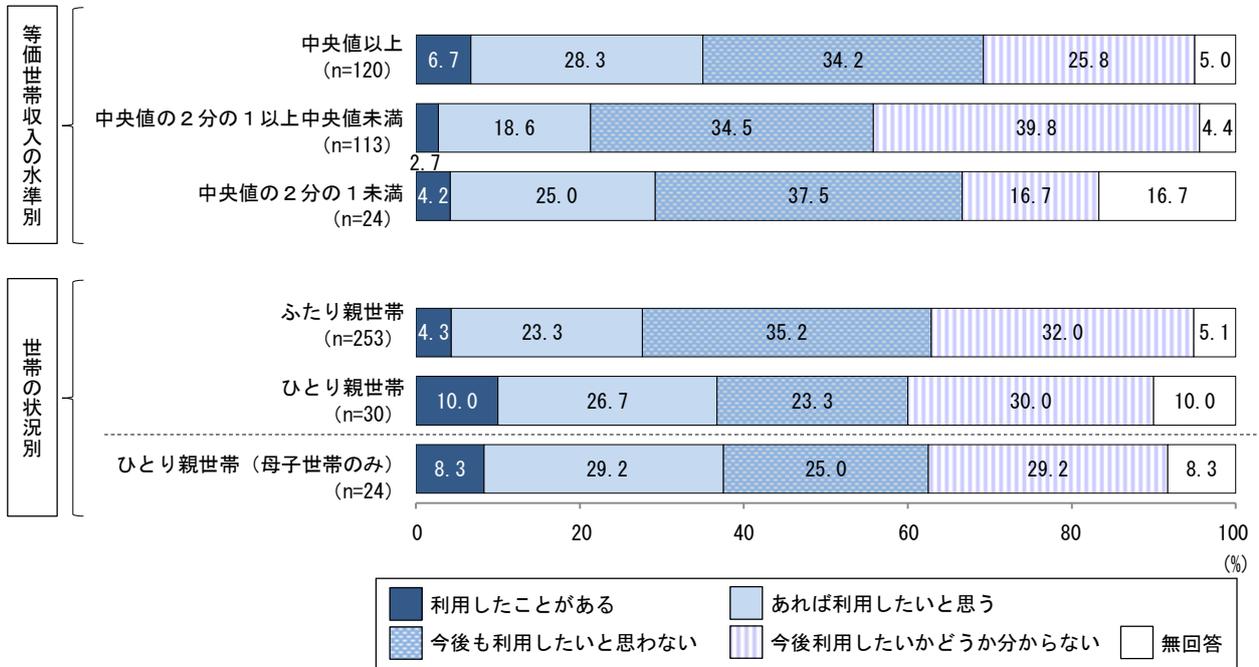
【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_小学5年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では27.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では27.4%、「中央値の2分の1未満」では24.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では26.2%、「ひとり親世帯全体」では25.0%、「母子世帯のみ」では20.0%となっている。

【等価世帯収入の水準別・世帯の状況別_中学2年生】



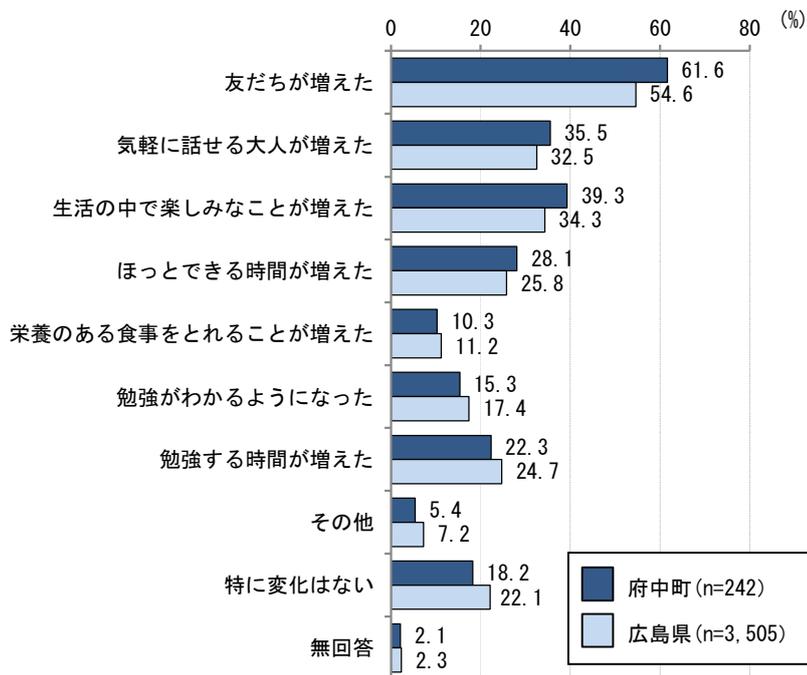
等価世帯収入の水準別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「中央値以上」では28.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」では18.6%、「中央値の2分の1未満」では25.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「あれば利用したいと思う」は、「ふたり親世帯」では23.3%、「ひとり親世帯全体」では26.7%、「母子世帯のみ」では29.2%となっている。

※問 21 で 1 つでも「1 利用したことがある」と答えた方に

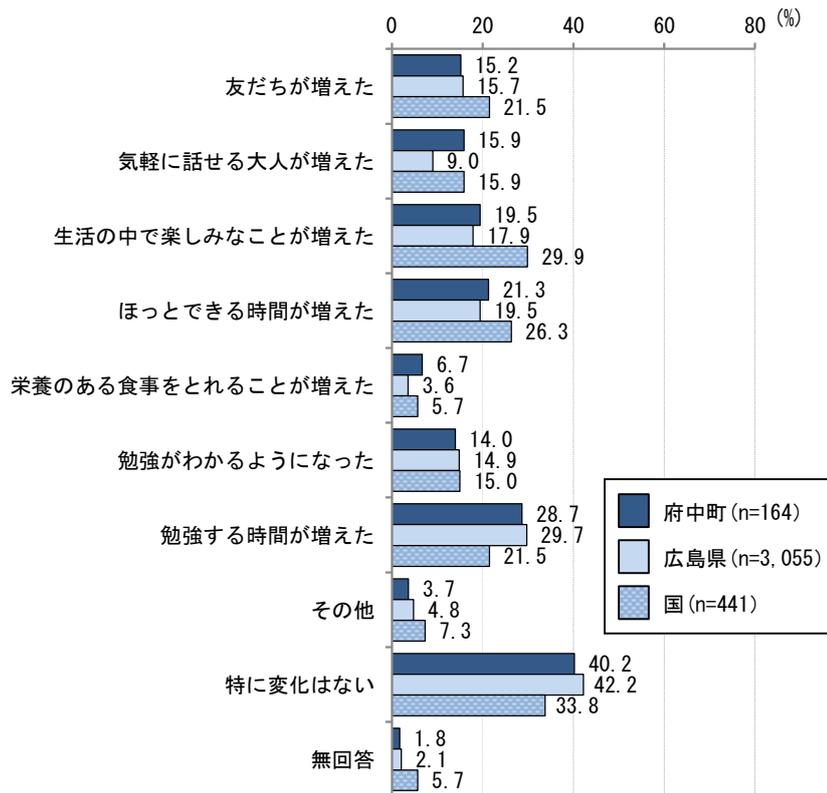
子ども票問 22. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA)

【小学 5 年生】



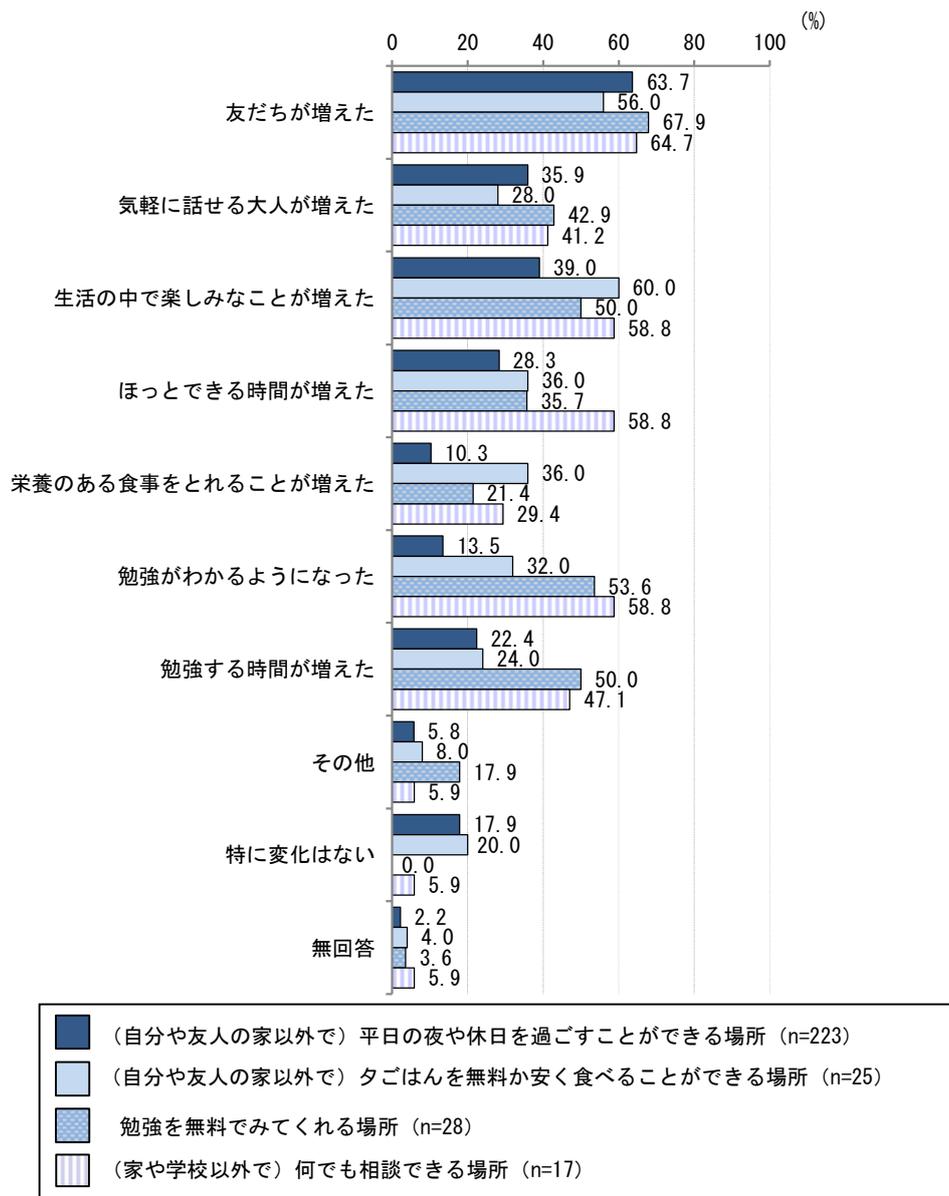
利用による変化について、小学 5 年生では、「友だちが増えた」が 61.6% と最も高く、次いで「生活の中で楽しいことが増えた」が 39.3%、「気軽に話せる大人が増えた」が 35.5% などの順となっている。広島県と比較すると、「友だちが増えた」は、府中町 (61.6%) が広島県 (54.6%) を 7.0 ポイント、「生活の中で楽しいことが増えた」は、府中町 (39.3%) が広島県 (34.3%) を 5.0 ポイント上回っている。

【中学2年生】



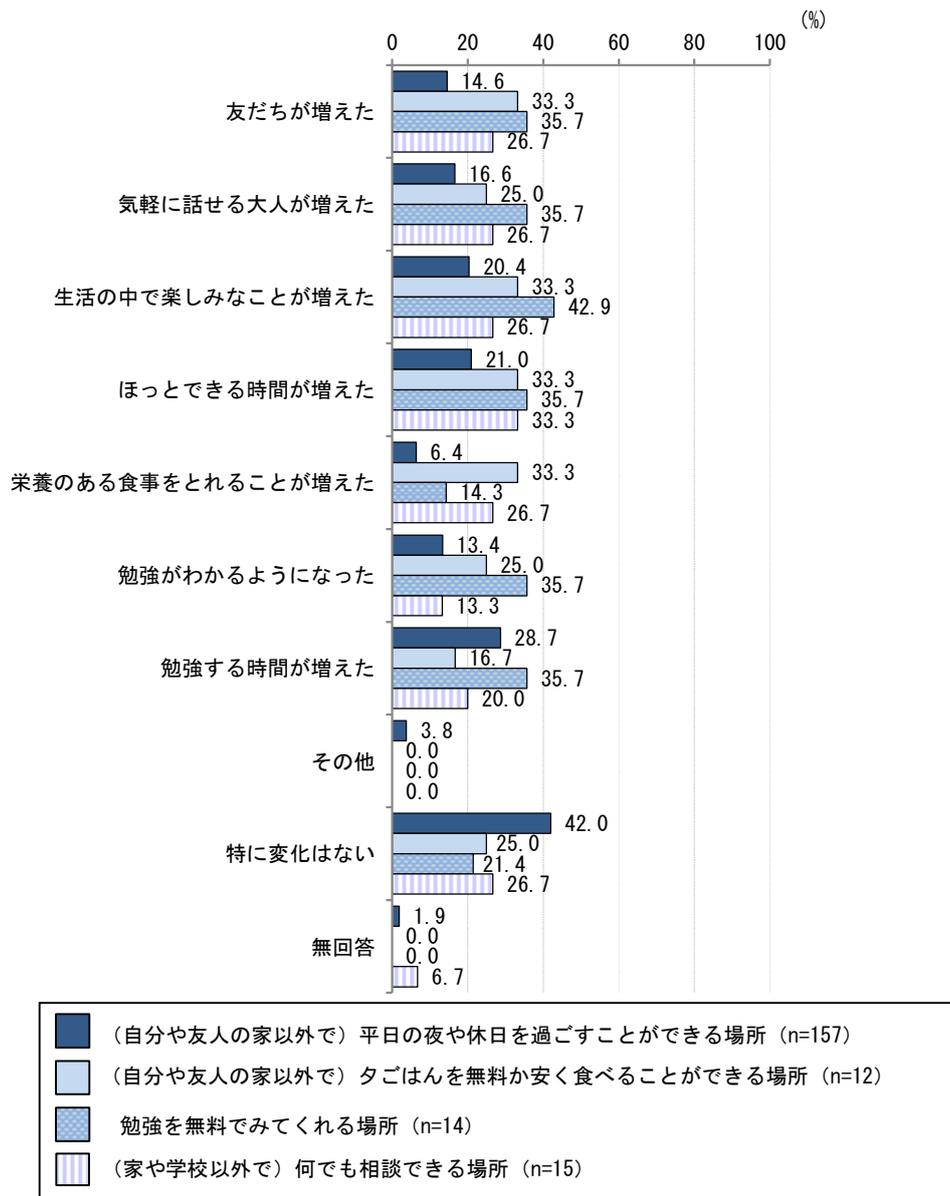
利用による変化について、中学2年生では、「勉強する時間が増えた」が28.7%と高く、次いで「ほっとできる時間が増えた」が21.3%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が19.5%などの順となっている。また、「特に変化はない」は40.2%となっている。広島県と比較すると、「気軽に話せる大人が増えた」は、府中町（15.9%）が広島県（9.0%）を6.9ポイント上回っている。国と比較すると、「友だちが増えた」は、府中町（15.2%）が国（21.5%）を6.3ポイント、「生活の中で楽しみなことが増えた」は、府中町（19.5%）が国（29.9%）を10.4ポイント、「ほっとできる時間が増えた」は、府中町（21.3%）が国（26.3%）を5.0ポイント下回っており、「勉強する時間が増えた」は、府中町（28.7%）が国（21.5%）を7.2ポイント、「特に変化はない」は、府中町（40.2%）が国（33.8%）を6.4ポイント上回っている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_小学5年生】



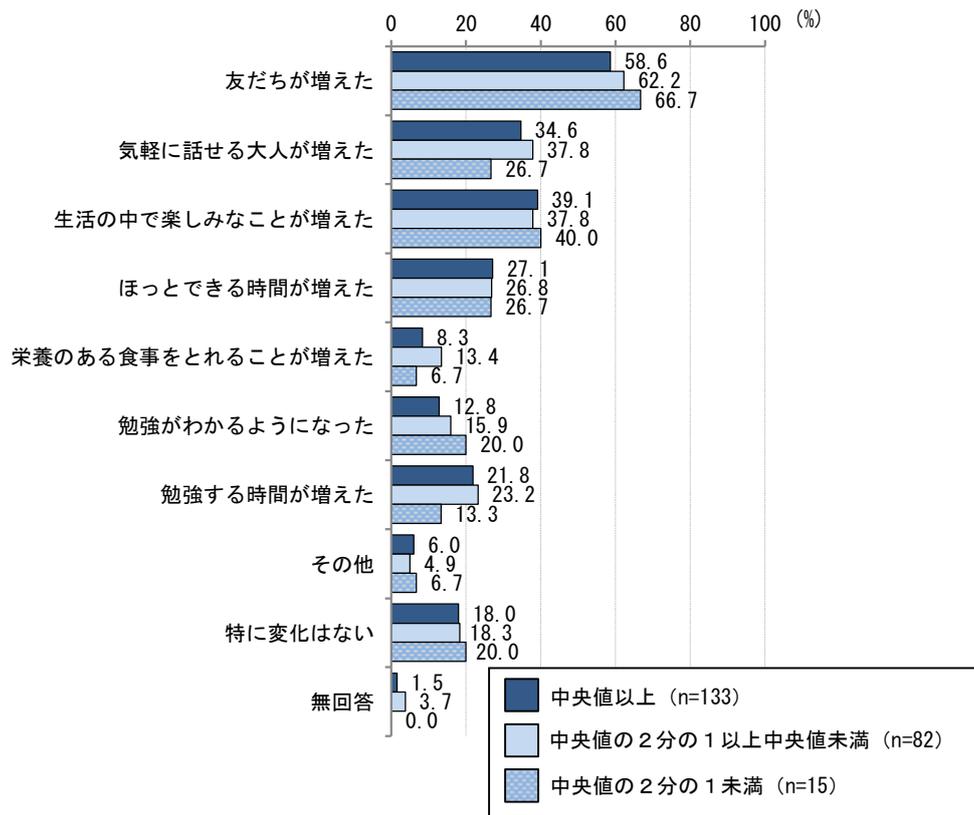
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強する時間が増えた」が50.0%となっている。

【利用した支援制度・利用場所の内容別_中学2年生】



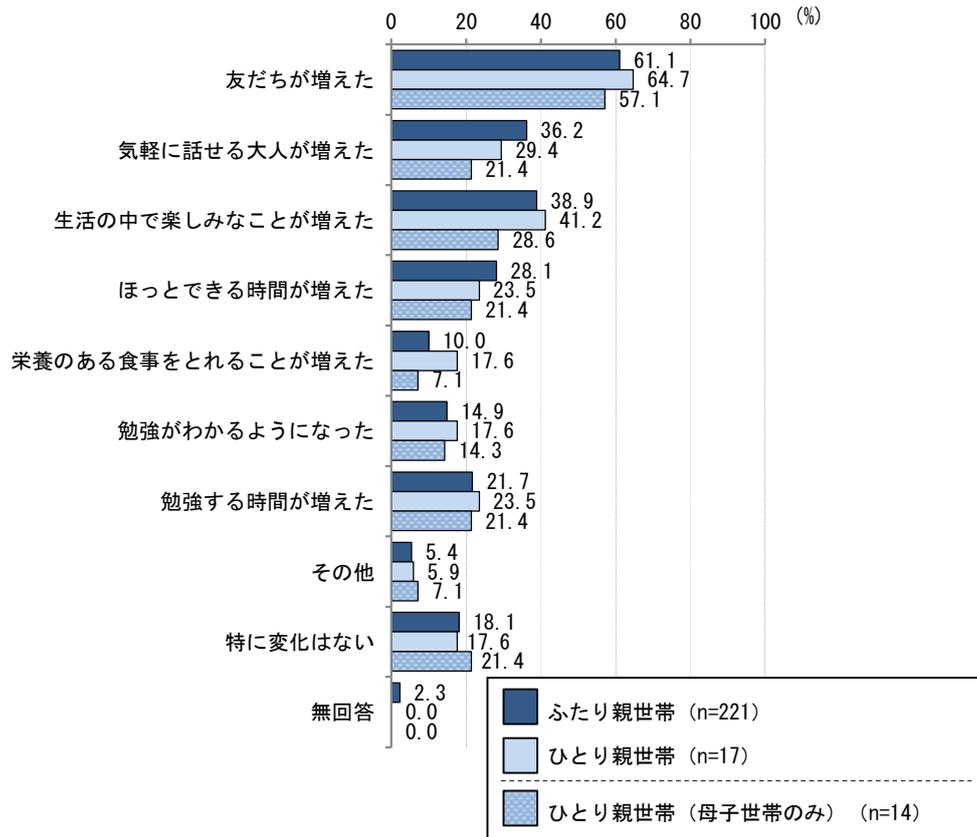
利用した支援制度・利用場所の内容別にみると、「勉強を無料でみてくれる場所」では、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間が増えた」がともに35.7%となっている。

【等価世帯収入の水準別_小学5年生】



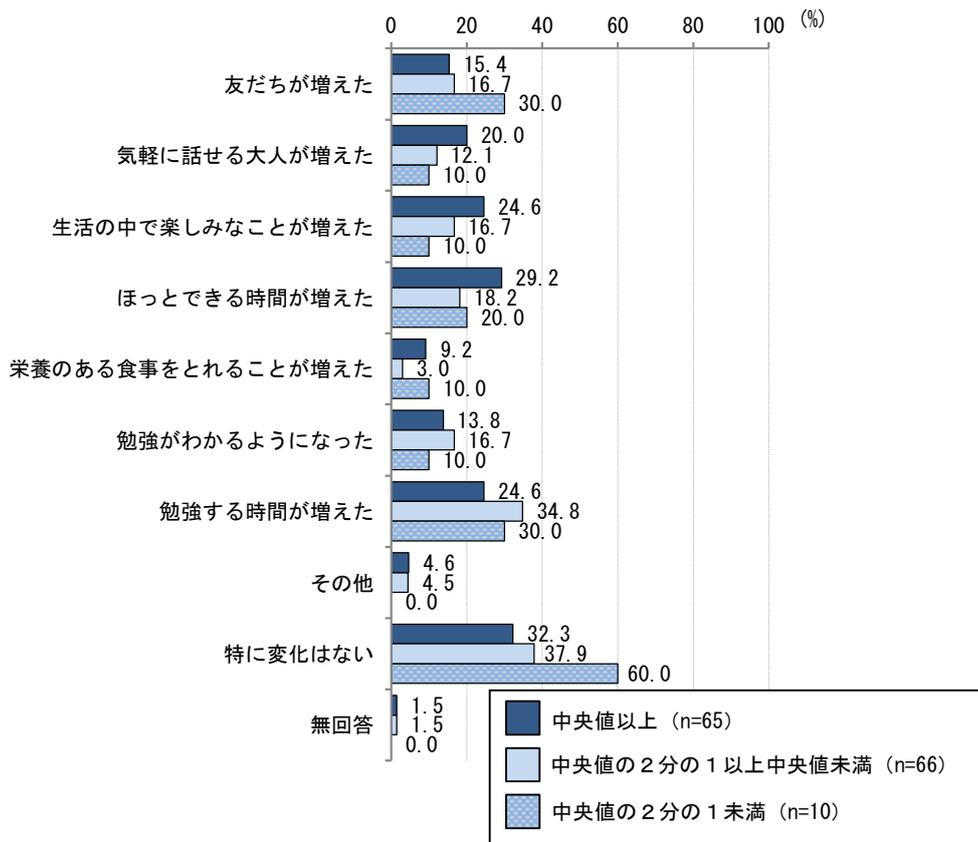
等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友だちが増えた」が66.7%、「勉強がわかるようになった」が20.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_小学5年生】



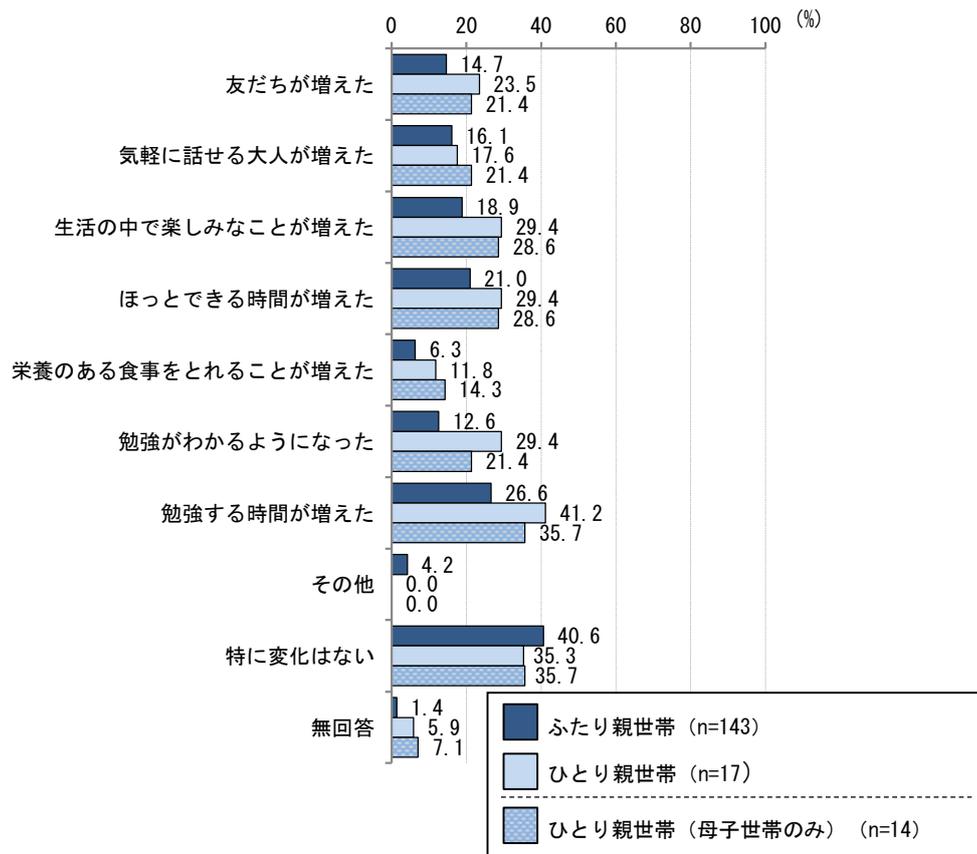
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「栄養のある食事をとれることが増えた」が17.6%と高くなっている。

【等価世帯収入の水準別_中学2年生】



等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」では、「友だちが増えた」が30.0%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が10.0%、「特に変化はない」が60.0%と他の世帯と比べて高くなっている。

【世帯の状況別_中学2年生】



世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」は「ふたり親世帯」に比べて、「友だちが増えた」が23.5%、「生活の中で楽しいことが増えた」が29.4%、「ほっとできる時間が増えた」が29.4%、「栄養のある食事をとれることが増えた」が11.8%、「勉強がわかるようになった」が29.4%、「勉強する時間が増えた」が41.2%と高くなっている。